

あじさい 123号

平成28年度長崎市育成会総会開催!



平成28年度定期総会が7月9日に原爆資料館ホールで開催され、会員、本人、職員、来賓合わせて307名の参加者がありました。今年は4年ぶりに実施された会員アンケートの報告とそれに寄せられたご質問やご意見に、理事長をはじめ担当の管理者や職員が答えるという形式で行われました。



最後の質疑応答では本人さんからの質問もいくつかありました。

九州大会に向けて、「手をつなぐ母の歌」のコーラスの練習が始まりました。



グループホームへの疑問・要望

- 南部、東長崎にグループホームを!
- 親亡き後、最期までお願いできるの?
- 短期の練習ができるの?
- どこまで支援してもらえるの?
- 夜間の職員がいなくても大丈夫?

アンケートを通して様々な質問が寄せられました。

もくじ

- 平成28年度総会開催
- 育成会 i n g
- 私たちの声を
私たちの将来に
- 全国大会報告
- おしらせ



28年度定期総会開催

7月9日（土）13：00より、原爆資料館ホールにて、平成28年度定期総会が開催されました。「アンケート結果から見えてくる今と未来～第4次育成会地域福祉5か年計画に向けて～」をテーマに、約307名の本人や会員、職員の参加がありました。

今年は第12期の役員改選の年でしたので、式典の前に、選考委員長である吉井裕子評議員より理事長候補者決定までの経過報告があり、第12期の役員紹介がありました。理事長には4期目となる谷美絵氏が引き続き選任され、新役員の皆さんからはそれぞれ就任挨拶がありました。



第12期役員の皆さん

第12期役員
任期：平成28年7月1日～
平成30年6月30日
理事：谷 美絵 甲田 裕
木浦 弘海 長島 志津代
中込 重秋 相川 勝代
小方 猛 桑野 嘉典
山田 直子
監事 重枝 喜朗 古庄正輝

この7月から長崎市育成会第3次地域福祉5か年計画の最終年となります。3次計画の後半には、重度の方のためにケアホーム型のケアホーム三京が平成26年に開設し、続いてその2号館をこの秋にオープンすることとなり、最終年にふさわしい取り組みとなりました。

また、第4次計画の内容についても、皆様から頂いた会員アンケートのご意見を十分に取り入れながら具体的に実現できるよう取り組みたいと考えています。

平成25年度の総会で「長崎市育成会全体で応援しよう」と提言した本人活動は、お母さんたちや職員が中心となり一生懸命取り組み、本人たちの想いや心の部分をしっかりとらえる支援を考えられるようになってきました。この8月の手をつなぐ育成会九州大会長崎県大会では、第5分科会「知る見るプログラム」を予定しており、本人のファシリテーターの活躍を見ることができるようです。

最後に、次の第4次計画では、日中活動の場、暮らす場、それらを支えるシステムを、どういう形で発展させていくのか、課題はどこへ向かっていくのかという一つの着地点探しになっていくのだと思います。グループホームが終の棲家だと単純に結論できないかもしれませんが、親亡き後の重要な居場所であることは間違いないので、今後もしっかり取り組んでいきます。また、今後グループホームの形は単体で存在するのではなく、日中活動やヘルパー事業、そして地域生活の要となる相談事業とすべてネットワークされた中での位置を見出していくのだろうと思っています。※理事長総会あいさつより抜粋

理事長あいさつに続いて、寺田事務長より法人本部事業報告等、長島常任理事より啓発事業報告等及び決算報告がありました。今年も、本人さん向けにわかりやすい会計決算書を用意しました。

司会の上田小夜香さん

4月からハートセンター事務局勤務



育成会アンケート報告

今年度は、第4次育成会地域福祉5か年計画に向けて、皆さんにご協力頂いた会員アンケートの結果報告とそこに寄せられたご質問、ご意見を紹介しながら、理事長や管理者、担当者などの考え方を聞いて、長崎市育成会の現状と未来について理解を深めました。主なものを紹介します。

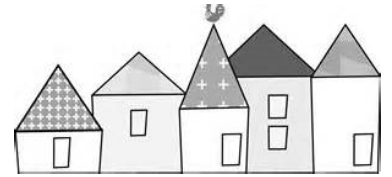
《本人活動について》

Q:「参加させたいがしっかりした人ばかりかと遠慮している。」「ひとりで行けない。」「親が連れていけない。」「本人が関心がない。」「運動系の講座が欲しい。」「重度なので参加が難しい。」

A: 障害を理由に体験の機会が与えられないのは残念なこと。一人で参加できない方は、保護者やヘルパーさんに同行してもらうこともできます。関心がないと思われることでも、やってみないとわかりません。運動系の講座は要望が高いので考えていきたいと思います。

《グループホームについて》

Q:「食事の栄養バランスは整っているのか?」「夜間の支援は大丈夫?」「会員全員に空き情報を流してほしい。」「南部・東部のグループホームの建設はどうなっているのか?」



A: 夕食は宅食を使っています。量が足りないと思われるときは別に買い足しています。

夜間に支援者が駐在しない「なめし」では、緊急の場合はバックアップ事業所から職員が駆け付けるように配備しています。

空き部屋が出た場合は、今のところ緊急性のある方を優先しています。入居を希望される方はサービス等利用計画作成の折に、伝えておいてください。

南部への建設は、次の4か年計画に盛り込んでいく予定です。東部に関しては今回初めて声が上がりました。グループホーム建設の7割は自己資金です。次々に建てられるものではないので、今から考えていきます。

《サテライト型》

グループホームから20分圏内での一人暮らしを目指します。グループホームの職員が、毎日訪問や電話で連絡を取ります。現在2名の方が利用されています。

《短期入所》

10月開所のケアホームさくらを合わせて、6名の枠があります。

安心してください!

《自立訓練》

緊急の場合、短期入所が満杯で使えなくても、育成会オリジナルの自立訓練で対応します。断ることはありません。1泊2食付きで3000円です。

《その他》

Q: 介護保険の事業所を作ってほしい。

A: ニーズはあるが、移行された方々を見てみると介護保険施設はとてもよくしてくださっています。

今は障がい者福祉に尽力したいと考えています。

Q: 育成会で介護保険の施設や葬儀場を作ってほしい。

A: 今は障害のある人たちへの支援を優先したい。

Q: 就労支援をもっとしてほしい。

A: 育成会では独自の就労支援システムを構築し、実践して



質問に答える職員の皆さん

います。さんらいずにはジョブコーチもおり、職場への定着率も高くなっています。また、就労者の集いも独自に開催し、就労後も相談できる場を作るよう心がけています。

質疑応答

最後の質疑応答の時間には、本人や会員の皆さんからたくさん手が挙がり、鋭い意見が出てきました。

Q：就労移行支援事業で就職された方々の就職先や定着率等も知らせてほしい。(会員)

A：ジョブコーチの利用もあり、たくさんの方々が就職されていますので、定着率もまとめてお知らせしたいです。また、「就職者の集い」も実施しています。

Q：市長との福祉懇談会で要望した「移動支援の利用拡充」についての回答は？(会員)

A：まだ返答はあっていません。こちらからももっと働きかけを行っていきます。



FICSに自由に見学できるようにしたり皆さんで勧誘して、参加者を増やすようにしましょう。(さんらいず利用者)



Q：グループホームに入居したら、住所変更をするのか？また、入居の期限はあるのか？(さんらいず利用者)

A：住所変更はしてもいいし、自宅のままでもいいです。入居には期限はありません。

他にもたくさんのご意見や質問がありました。紙面の都合上全て載せることができませんでした。来年の総会にはさらにたくさんの方に来ていただけるような内容にしたいと思います。ぜひ足をお運びいただき、ご意見をお聞かせください。

今年もさんらいずのお菓子、ワークあじさいの野菜や花の苗、陽香里工房のチーズケーキなどの販売が行われ、休憩ごとに賑わっていました。



みんなの声

総会アンケートより

【総会全体について】

- ・時間が長かった。(7名)
- ・グループホーム入居者の保護者の感想が聞けて良かった。
- ・ルビをつけてほしい。
- ・知りたいこと聞きたかったことが分かりやすく説明されてよかった。(5名)
- ・今回の報告と説明はその全容を広報が別刷りで紹介してほしい。
- ・後見人についてもっと知りたかった。
- ・もう少し早く終わるようにしてほしい。
- ・グループホームやケアホームのことが分かってよかった。
- ・バス停から遠いので、開催場所はブリックホールかハートセンターにしてほしい。
- ・いろんな話が聞けて良かった。
- ・夢くらぶに参加したいと思った。
- ・毎年工夫された内容で、画面もあり見やすかった。
- ・理事長の話が分かりやすかった。
- ・説明の人たちが明るくてよかった。

【育成会へのご意見・ご要望】

- ・育成会の行事「新年親子の集い」の名称は親も子も年齢が上がっており、もう「新年の集い」ではないか。
- ・九州大会で歌う「手をつなぐ母の歌」は母だけが強調されているのはどうかと思う。
- ・これからも親子で育成会のお世話になります。
- ・さんらいずのギフトのパンフレットを配布してほしい。
- ・グループホームの建設は大変でしょうが頑張してほしい。(3名)

育成会 ing

ケアホームさくら開所説明会

総会でもお知らせしましたが、「ケアホーム三京」に隣接して建設中の「ケアホームさくら」(定員7名、短期入所1名)をいよいよこの秋開所することになりました。つきましては、その開所説明会を下記の内容で実施いたします。出席を希望される方はセンター事務局、または育成会各事業所までお申し込みください。また、入居申し込みに関しては説明会后に配布予定です。

日時:平成28年8月10日(水) 10:00~12:00

場所:長崎県総合福祉センター 県棟4F 障害者交流室
(長崎市茂里町3番24号)

※ハートセンターではありませんのでご注意ください。

※駐車場はありません。

お車の方は近隣の有料駐車場をご利用ください。

内容:「ケアホームさくら」の事業内容について

・開所日程、費用、日課など

あじさいの家 管理者大平博幸 ☎095-850-4150

またはハートセンター事務局 ☎095-847-1290



九州大会コーラス練習スタート!

第56回九州地区手をつなぐ育成会長崎県大会まであと1か月余りとなり、大会2日目のオープニングで披露する「手をつなぐ母の歌」「手のひらを太陽に」の練習が始まりました。合唱団「コーロ・ステラ」のメンバーの方にもお手伝いいただくことになっていますが、まだまだ、一緒に歌っていただける方を募集中です。お知り合いの方をお誘いいただき、ご協力をお願いします。

練習日は下記のとおりです。全日程ご参加いただけなくてもかまいません。

お申込み、お問い合わせはハートセンター事務局(☎847-1290)までお電話ください。

7/26(火) 10:00~12:00

ブリックホールリハーサル室

8/2(火) 10:00~12:00

ブリックホールリハーサル室

8/23(火) 10:00~12:00

ハートセンター5F視聴覚室

8/26(金) 17:00~

ブリックホールで全体リハーサル

8/28(日) 本番前リハーサル



私たちの声を 私たちの将来に…

平成28年6月19日以降の国政選挙の選挙年齢が18歳以上になりました。将来を担う若い世代の声を政治に取り入れるために年齢が引き下げられたことで、新たに約240万人が投票できるようになりました。障がいのある人たちが「投票に行く」にはまだまだ工夫が必要な部分も多いですが、今回の年齢引き下げがきっかけになり、投票に出かけられた方もいらっしゃるのではないでしょうか。

そこで、今回は『投票制度』について取り上げてみました。

選挙期日（選挙の投票日のことをいいます。）の投票時間・投票所の開閉について

長崎市の場合（一部離島を除く）午前7時から午後8時まで開所しています。投票日前に有権者あてに郵送された入場券付案内書を投票所の受付で出せば投票用紙をもらえますので、話すのが苦手な人でも大丈夫です。（ハガキを持参しなくても投票はできます。）



投票所への立ち入りについて

本人と一緒に介護者も投票所に入ることができます。誰に投票するか決めるのは本人ですが、記名の見守りは可能です。期日前投票所のハートセンターでは投票所の方が支援もしていただきます。

代理投票について

投票用紙に文字を記入できない人のための制度です。投票所で投票管理者に申請すると、補助者2名が定められ、その1人が選挙人の指示に従って投票用紙に記入し、もう1人が、指示どおりか確認します。（ただし、補助者は投票事務に従事する者に限られます。）

期日前投票制度・不在者投票制度について

期日前投票制度とは、選挙期日前に選挙期日と同じ方法で投票を行うことができます。選挙期日に都合で投票に行けない方が対象です。

不在者投票制度とは、諸事情により選挙期間中に現住所以外の市町村に滞在している方が滞在先の市町村で投票すること、病院などに入院している方がその施設内で投票することです。

選挙年齢の引き下げに伴い、市内の特別支援高等学校でも選挙について年に数回の授業（選挙のしくみ・投票の仕方・模擬投票など）を取り入れてくださっています。生徒さんたちは「どんな政治家がどんな仕事をしているのか」「投票の仕方」、「芸能人の投票呼びかけCM」について興味があるようです。

障がいがある人も様々な制度を利用して投票はできますが、やはり「誰に投票すればいいか選べない」という点が一番の壁かもしれません。知的障害者向けの分かりやすい候補者のマニフェストや選挙のパンフレットなどがあれば、もっと投票しやすくなるに違いありません。誰にとっても大切な

私が選挙に行く理由

いつも両親と行っているから
(40代 女性)

投票済証を集めているから
(30代 男性)



一票です。有効に使いたいですね。

選挙は国民の義務だから
(20歳 男性)

出馬している人を選ぶことが楽しみだから
(40代 女性)

全国手をつなぐ育成会連合会神奈川大会が開催されました！

平成28年7月2日（土）～3日（日）の2日間にわたり、第3回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会神奈川大会が横浜市で開催され、長崎県からは長崎市の本人6名、職員7名を含む35名が参加しました。「誕生した大切な命だから 一人ひとりが充実した生活を」というメインテーマの下、初日は4つの家族・支援者分科会が2か所に分かれて開催されました。また、同日程で開催された本人大会は「自分のことを自分の声で話そう」という大会スローガンを掲げ、5つのコースに分かれてそれぞれのテーマで活動をしました。後半は全員が大ホールに集まり「ライブセッション2016@かながわ」と題し、福祉施設スタジオクーカのメンバーで構成された人形劇団「ふもっふっ二代目」のくすっと



長崎県より参加されたみなさん

笑える独創的な世界観の人形劇「テキトー版白雪姫」とNHK歌のお兄さんと障がいのある人たちで結成したロックンロールバンド『サルサガムテープ』の鮮やかで元気いっぱいのライブで盛り上がりました。夜は懇親会と交流会（本人）に分かれ、全国から集まった人たちと親交を深めました。交流会では名刺交換の時間もあり、長崎市のみなさんも誇らしげに準備した名刺を配られていました。

2日目は育成会大会・本人大会合同全体会が行われ、雲仙市育成会の方が会長表彰を受けられました。全国手をつなぐ育成会連合会の田中正博統括の中央情勢報告の後、元マラソン選手の有森裕子氏による記念講演が行われました。障がいのある人のスポーツプログラムであるスペシャルオリンピックスの支援をされている有森氏の「障がいがあるがゆえに圧倒的に挑戦する機会がもらえない。できない理由、それはやらせてもらえないこと。」という言葉がとても心に残りました。大会終了後は帰りの飛行機までの待ち時間に、カップヌードルミュージアムに立ち寄り、みんなでオリジナルのカップヌードルを作る体験を楽しみました。来年は北海道大会です。研修と観光を兼ねて出かけてみられませんか。

家族・支援者分科会

- 第1分科会『大切な命を授かって生まれる～家族支援と本人支援のバランスを考える～』
- 第2分科会『インクルーシブな社会で育つ～権利条約から読み解く教育・社会参加～』
- 第3分科会『自分らしさを発揮して生きる～可能性を引き出す支援の実践～』
- 第4分科会『成人後の人生を自立的に暮らす～制度を利用する際の意思決定支援のあり方～』

本人大会

- A コース：シンポジウム『自分のことは自分で決めたい』+グループトーク
- B コース：『仕事と差別について』+グループトーク
- C コース：『生活についてありのままに話しましょう』
- D コース：『一緒にゲームと手作りを楽しむワークショップ』
- E コース：『バスツアー』 山下公園・赤レンガ倉庫・横浜ベイブリッジなど

お知らせ

習字

日時:第4土曜日
 ※ただし8月は8/20(土)
 時間:午後1時～
 場所:ハートセンター5F社会適応訓練室
 会費:1回500円

定例会

日時:8月18日(木) 10:00～12:00
 『お困りごと相談』
 場所:タイムケア事務局
 日時:9月20日(火) 10:00～12:00
 『フラワーアレンジメント教室』
 場所:ハートセンター5F 会議室
 ※材料代1500円程度
 ※9/15(木)までにハートセンターにお申し込みください。 ☎847-1290

フラワーアレンジメント

日時:第2・第4土曜日 午前10:30～
 ※ただし8月はお盆と九州大会のため休みとなります
 場所:ハートセンター5F社会適応訓練室
 会費:1回1300円

おたのしみ倶楽部

日時:8月21日(日) 絵手紙を描こう
 9月18日(日) リラクゼーション
 時間:13:00～15:00 集合場所:ハートセンター1階ロビー
 参加費:1回500円 または 年会費2500円(5回以上参加の方はこちらがお得です。)

育成会運動会

日時:9月10日(土)
 時間:9:30～15:30
 場所:長崎市民会館 体育館
 お申し込みはハートセンターまで
 ☎095-847-1290

楽しい競技がいっぱいです。
 お申し込みは
 8/22(月)まで。

